

授業科目名	免疫学（展開）	担当教員	教授 原田守， 講師 小谷仁司， 助教 飯田雄一
開講年次・学期	2 年後期	必修/選択	必修
開講形態	講義	時間数/単位数	1 5 時間
授業概要			
生体の恒常的維持には免疫システムの機能的バランスが不可欠です。免疫応答が機能不全になれば感染症や免疫不全が問題となり、免疫応答性が過剰になれば自己免疫疾患やアレルギーなどの様々な疾患が生じます。免疫力が低下するとがんに対する抵抗力も低下します。2 年生では、1 年生後期で学んだ基礎免疫学の知識を基にして、これらの疾患の病態や病態の理解に基づく治療法について学びます。さらに、がんに対する免疫療法や臓器移植に伴う免疫応答の制御法や生殖免疫についても学んでもらいます。			
到達目標			
1. 免疫応答を調整する細胞や分子を説明できる。 2. 様々な感染症に対する生体防御・免疫反応を説明できる。 3. 様々な自己免疫疾患の免疫的病態を説明できる。 4. 自己免疫疾患に対する治療を説明できる。 5. アレルギー疾患・アナフィラキシーの病態と治療を説明できる。 6. 免疫不全の種類と病態を説明できる。 7. がんに対する免疫応答と免疫学的治療法を説明できる。 8. 生殖免疫にかかわる免疫応答を説明できる。 9. 移植拒絶、移植片対宿主病の病態を説明できる。 10. 免疫抑制性細胞について説明できる。			
成績と合格基準			
1. 筆記試験の合計 60 点以上を合格とします。 2. 再試験は 1 回実施します。再試験での合格は、本試験の結果も参考に総合的に判断します。 3. 追試験は 1 回実施します。追試験での合格は、本試験と同様に判断します。			
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材			
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 （教科書）標準免疫学（第 3 版）谷口克監修、宮坂昌之他編集 医学書院 （参考書）医系免疫学（改訂 12 版）矢田純一著 中外医学社 分子細胞免疫学（第 7 版）Abbas 他著・松島綱治他監訳 エルゼビア・ジャパン 免疫生物学（7 版）Janeway 他著・笹月健彦監修 南江堂			
コア・カリとの関連			
C-2) 個体の構成と機能、C-3) 個体の反応、C-4) 病態と病態、D-1) 血液・造血器。リンパ系、E-2) 感染症、E-3) 腫瘍、E-4) 免疫・アレルギー、F-2-13) 輸血と移植			